

第7回「あなたに届けるJA健康寿命100歳弁当」コンテスト実施要領

1 目的

永山久夫先生提唱の「5色を食べて達者が一番」を、それぞれの地域にあった自分たちのものとして普及・定着させるため、JA助けあい組織、JA女性組織等の活動で実施している配食やミニデイでの活用を想定し、23年から100歳弁当コンテストを実施してきました。

なお、平成27年度からは、従来の「5色を食べて達者が一番」に加え、小山浩子先生提唱の減塩効果を狙った「乳和食」部門を新設しており、今年度も引き続き第7回目として実施します。

平成29年11月開催予定のJA助けあい組織全国交流集会・JA健康寿命100歳サミットの中で、応募事例を相互に学ぶことにより、JA健康寿命100歳プロジェクトの食事分野のさらなる実践と取組み内容の深化を図ります。

2 主催

主催：全国農業協同組合中央会
JA高齢者福祉ネットワーク
後援：厚生労働省（予定）

3 実施方法

(1) 応募について

「5色を食べて達者が一番」部門、「乳和食」部門のいずれか、あるいは両方の部門から応募できます。

【「5色を食べて達者が一番」部門】

①応募する弁当の基準：JA健康寿命100歳プロジェクトの食事分野の取組みの趣旨に照らし、特別高価な食材や特殊な調理法を必要としない昼食用の日常的な弁当（味噌汁、お茶など液体物除く）で、以下の要件を満たすもの。

- ・「5色を食べて達者が一番」の趣旨に合致するもの
(別紙永山久夫氏資料参照)
- ・旬のもの、地場の食材を使用
- ・主食はご飯
- ・弁当スタイルに盛り付け（弁当箱の大きさ、形状は問わない）

*これまでの傾向として高級食材の使用、イベント用の豪華弁当が散見されました。弁当の基準をよくご確認のうえ、趣旨に沿った作品の応募をお願いいたします。

②応募資格：

JA、JA助けあい組織、JA女性組織など、JAの組合員組織・グループ、厚生連病院・JA介護保険事業所などの厨房部門、JAの協同会社等。

ただし、1組織・グループにつき、1作品のみ
※プロ・アマ問わず、応募可能です。ただし、個人での応募はご遠慮ください。

③応募書類：

1) 応募用紙

(別紙に都道府県名、JA名、組織・グループ名、弁当名、弁当の対象者、アピールポイント、使用食材量、作り方を記載)

*厚生労働省からアレルギー物質として表示を義務付けられている対象7品目(下記参照)を含む材料を使用する場合は、応募用紙にご記入いただきますようお願いいたします(別添の応募用紙に記載欄を設けましたので、ご利用下さい)。

対象7品目：卵・乳・小麦・えび・カニ・そば・落花生

(乳にはクリーム、バター、チーズ等の乳製品を含みます)

2) 1人前の出来上がりのカラー写真(2L判：127ミリ×178ミリ)

※審査時にお弁当の内容がわかるように、可能な限り画面いっぱいに、美しく、中身が切れないように撮影してください。

3) 応募方法

郵送の他、所定の応募用紙(エクセルファイル)にレシピ等の必要事項を入力し、応募用紙についている写真貼付欄に写真データを貼付してファイル(2MB以下)でのメール送付でも可とします。応募用紙記入例をご参照ください。

メール送付先：kourei.s@zenchu-ja.or.jp

④募集締め切り日：平成29年8月25日(金)

上記③の応募書類がJA全中に必着のこと

送付先：〒100-6837 千代田区大手町1-3-1

全国農業協同組合中央会 高齢者対策課

kourei.s@zenchu-ja.or.jp

《第6回コンテスト受賞作品》

【「5色を食べて達者が一番」部門】

すばらしいで賞

「腹ペコ父ちゃんとおしゃべり母ちゃんの畑 DE ランチ」
JA 大阪南 JA 大阪南女性会本部役員



「さわやか、満腹弁当」
JA 名取岩沼 女性部本部会

「いただきまあ〜す いなべで見つけた彩り弁当」
JA みえきた JA みえきた助け合い組織「ほほえみの会」



【「乳和食」部門】

①応募する弁当の基準：

J A健康寿命 100 歳プロジェクトの食事分野の取組みの趣旨に照らし、特別高価な食材を必要としない昼食用の日常的な弁当（味噌汁、お茶など液体物除く）で、以下の要件を満たすもの。

・「乳和食」(注1)(注2)で作った料理が3品以上あること。

（ヨーグルト、チーズ等の乳製品のみで牛乳（成分無調整牛乳）を使っていない料理は「乳和食」ではありません）

(注1)「乳和食」とは味噌や醤油などの伝統的調味料に、「コク味」や「旨味」を有している牛乳（成分無調整牛乳）を組み合わせることで、利用されている食材本来の風味や特徴を損なわずに食塩やだしを減らし、美味しく和食を食べてもらう調理法です。

詳しくは別紙小山浩子氏資料、一般社団法人 J ミルクのホームページをご覧ください。

<http://www.j-milk.jp/nyuwashoku/about.html>

(注2)「乳和食」のレシピ本等で既に公表されているレシピを参考にしてアレンジ（材料を変える等）していただいて結構です。ただし、そのままのレシピの場合は減点対象とします。

- ・旬のもの、地場の食材を使用
- ・主食はご飯
- ・弁当スタイルに盛り付け（弁当箱の大きさ、形状は問わない）

②応募資格：

J A、J A助けあい組織、J A女性組織など、J Aの組合員組織・グループ、厚生連病院・J A介護保険事業所などの厨房部門、J Aの協同会社等。

ただし、1組織・グループにつき、1作品のみ

※プロ・アマ問わず、応募可能です。ただし、個人での応募はご遠慮ください。

③応募書類

1) 応募用紙

(別紙に都道府県名、J A名、組織・グループ名、弁当名〈内訳：乳和食の料理名〉、弁当の対象者、アピールポイント、使用食材量、作り方、牛乳を使って減塩に工夫したポイントを記載)

*牛乳を使って減塩に工夫したポイントを必ずご記入ください。

*厚生労働省からアレルギー物質として表示を義務付けられている対象7品目（下記参照）を含む材料を使用する場合は、応募用紙にご記入いただきますようお願いいたします（別添の応募用紙に記載欄を設けましたので、ご利用下さい。）

対象7品目：卵・乳・小麦・えび・カニ・そば・落花生

(乳にはクリーム、バター、チーズ等の乳製品を含みます。)

2) 1人前の出来上がりのカラー写真(2L判:127ミリ×178ミリ)

※審査時にお弁当の内容がわかるように、可能な限り画面いっぱい、美しく、中身が切れないように撮影してください。

3) 応募方法

郵送の他、所定の応募用紙(エクセルファイル)にレシピ等の必要事項を入力し、応募用紙についている写真貼付欄に写真データを貼付してファイル(2MB以下)でのメール送付でも可とします。応募用紙記入例をご参照ください。

メール送付先: kourei.s@zenchu-ja.or.jp

④募集締め切り日:平成29年8月25日(金)

上記③の応募書類がJA全中に必着のこと

送付先:〒100-6837 千代田区大手町1-3-1

全国農業協同組合中央会 高齢者対策課

kourei.s@zenchu-ja.or.jp

《第6回コンテスト受賞作品》

【「乳和食」部門】

特別賞

「減塩乳和弁当」

JA 松阪

JA 松阪助け合い組織ほほえみ



奨励賞

「シン・ミルクランチ」

JA 福島さくら いわき地区女性部

神谷支部 きらきらクラブ



(2) 審査ならびに表彰について

審査委員会を10月上旬までに開催し、応募用紙と写真により「5色を食べて達者が一番」部門の入賞作品4点、「乳和食」部門の入賞作品2点を選考します。

審査結果は、JA都道府県中央会等を通じ文書連絡を行います。

また、入賞組織・グループに対し、表彰状・副賞を授与します。

「参加賞」につきましては、JA都道府県中央会等を通じてお渡しします。

なお、「5色を食べて達者が一番」部門「すばらしいで賞」受賞作品は、11月9日（木）、10日（金）に開催するJA助けあい組織全国交流集会・JA健康寿命100歳サミットの参加者に提供される昼食弁当メニューとします。

【審査委員会】

食文化史研究者・西武文理大学客員教授

永山久夫氏

料理家・管理栄養士

小山浩子氏

JA全国女性組織協議会

JA高齢者福祉ネットワーク

JA全中 JA支援部

【「5色を食べて達者が一番」部門】

「すばらしいで賞」1点：表彰状＋副賞（3万円＋永山久夫先生直筆画）

「食べてみたいで賞」2点：表彰状＋副賞（1万円＋永山久夫先生直筆画）」

「永山久夫賞」1点：表彰状＋副賞（永山久夫先生直筆画）※**今年度新設**

「参加賞」全応募組織・グループにつき副賞（永山久夫先生作成画）

【「乳和食」弁当部門】

「特別賞」1点：表彰状＋副賞（2万円＋乳和食オリジナルグッズ）

「奨励賞」1点：表彰状＋副賞（1万円＋乳和食オリジナルグッズ）

「参加賞」全応募組織・グループにつき副賞（同上 永山久夫先生作成画）

以上